

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	修文学院高等学校	学校No.	
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) インターアクトクラブを中心として、生徒会を通して生徒全員に呼びかけ、福祉活動を行っている。</p> <p>(2) 一宮市を中心とした地域に根ざした活動を推進している。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>4月 たんぽぽ温泉「15周年感謝祭」 あしなが学生募金</p> <p>6月 粉祭</p> <p>7月 いずみ作業所</p> <p>8月 神山納涼夏まつり おもちゃ図書館・ウェルコートみずほ・泰玄会西病院・風の苑マグノリア</p> <p>9月 一豊まつり</p> <p>10月 一宮市戦没者記念式典 みんなでチャレンジアカデミー～わくわくスポーツFES. in 一宮愛知～</p> <p>11月 かしの木フェスティバル</p> <p>12月 いちのみやフォトロゲイニング 東海テレビ国際ポッチャ 三校ポッチャ交流会</p> <p>3月 ライオンズクラブ国際協会334-A地区合同プロウォーキング FMいちのみや ラジオ収録</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>高齢者施設や地域のイベントに参加する機会が増え、地元一宮に根ざした活動が定着した。文化祭ではユニバーサルスポーツの紹介・ポッチャ体験コーナーを作り、障がい者スポーツについての普及にも努めた。校内の球技大会でポッチャが初めて行われ、その審判を部員が行った。今後は、ポッチャやユニバーサルスポーツへの知識を深め、普及できるよう実践していきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2026年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	愛知県立一宮北高等学校	学校No.	
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>一宮特別支援学校との交流や、地域でのボランティア、社会福祉施設でのボランティアなど、福祉に関する体験活動を通して、責任感や自立心を育て、相手を尊重する豊かな心と社会の一員であるという自覚の育成を目指している。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>（1）地域社会でのボランティア活動 校内と学校周辺の美化活動を行い、学校生活を快適にするための環境整備と生徒全員のボランティア精神の育成を図った。 11月には地域交流の一環として、近隣在住の小学生約50名を集め、スポーツや文化活動を通じた交流（北斗スポーツカルチャーフェスティバル）を行った。</p> <p>（2）一宮特別支援学校との交流 前期には一宮特別支援学校生徒会執行部が本校に来校し、後期には本校生徒会執行部が一宮特別支援学校を訪問し、交流した。お互いの自己紹介と学校紹介をしながら、親睦を深めることができた。 12月には生徒会執行部と希望者の合わせて約25人が一宮特別支援学校を訪問した。学年ごとに分かれ、自己紹介やポッチャ、ビリヤードをして交流した。 さらに、部活動交流や文化祭での交流も実施している。</p> <p>（3）募金活動、支援活動 校内に設置している募金付き自動販売機から赤い羽根共同募金を行った。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>生徒会執行部を中心としてボランティア活動を行い、福祉に対する関心や、責任感、自尊心を育成することができた。 今年度は、老人福祉施設や図書館、障害児支援施設などで希望生徒が夏休みにボランティアを行った。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	愛知県立一宮西高等学校	学校No.	3
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来について具体的に考え、社会の一員としての自覚を確立するために福祉活動の一端に触れる機会をつくる。ボランティアや一宮聾学校との交流を行うことで、福祉の心、ボランティア精神について学び、幅広く考える姿勢を身に付ける。 ・高齢者や障害のある人たちとの交流を通して、相互に基本的人権を尊重し、差別や偏見なく他人を思いやる心を育成する。 <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>6月 環境美化活動（1年生） 9月 一宮聾学校高等部生徒との交流会（西高祭に招待） 10月 福祉実践教室 吹奏楽部「0さいからのわくわくなかよしコンサート」開催 1月 赤い羽根募金</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>福祉教育に関わる活動が実施できるように準備を進め、一昨年、昨年に引き続き一宮聾学校の生徒と西高校の文化祭を通して交流することができた。 福祉実践教室は例年通り行うことができた。福祉実践教室では視覚障害者ガイドヘルプと高齢者疑似体験を行った。来年度は、今年度の参加生徒からの希望が多かった車いす体験も実施したいと考えている。 今後も福祉の大切さを生徒に伝え、一人でも多くの生徒が福祉に関心を持てるような活動をしていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

2025 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	愛知県立木曾川高等学校	学校 No.	
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標 ボランティア教育の一環として、校外・校内ボランティアを通して、日常と違う世界を体験し、様々な人と出会うことによって他者を思いやる心を育む。</p> <p>(2) 計画 例年参加している校外活動に加え、校内でやってみたいボランティア活動を生徒から募集する。</p> <p>(3) 推進体制 ボランティア委員会を設置し、各クラスより 2 名ずつ委員を選出する。委員による広報活動を通して、生徒全体にボランティア活動を広める。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1) 校外ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年 ブラスバンド部の地域行事などでの演奏 ・4月 あしなが学生募金校外ボランティア ・8月 夏休みボランティア福祉体験学習事業 ・8月 一宮市びさい夏まつり翌日清掃ボランティア ・9月 ほのぼのまつり校外ボランティア ・10月 赤い羽根共同募金校外ボランティア ・11月 かしの木フェスティバル校外ボランティア <p>(2) 校内ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年 清掃美化活動 ・11月 赤い羽根募金校内募金活動 <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>今年度は、校外ボランティアの募集において、Web 上のアンケート機能を活用して参加希望者を募った。募集方法をデジタル化したことで、生徒が空き時間に気軽に応募できる環境を整えることができた。応募者数は例年と同程度であったが、これまで参加経験の少なかった生徒からの応募も見られ、ボランティア活動への参加の間口を広げることにつながった。</p> <p>参加した生徒は、地域社会との関わりを実感する機会となった。また、活動に参加した生徒からは、「相手の立場に立って考えることの大切さを学んだ」といった感想が聞かれ、他者理解や思いやりの心を育てる貴重な学習機会となった。</p> <p>一方で、参加生徒が一部の生徒に限られる傾向があるため、より多くの生徒がボランティア活動に関心を持ち、参加できる仕組みづくりが課題である。今後は、SNS や校内掲示、ホームルーム等での紹介を通して活動の魅力を積極的に発信し、参加者の裾野を広げていきたい。</p>			